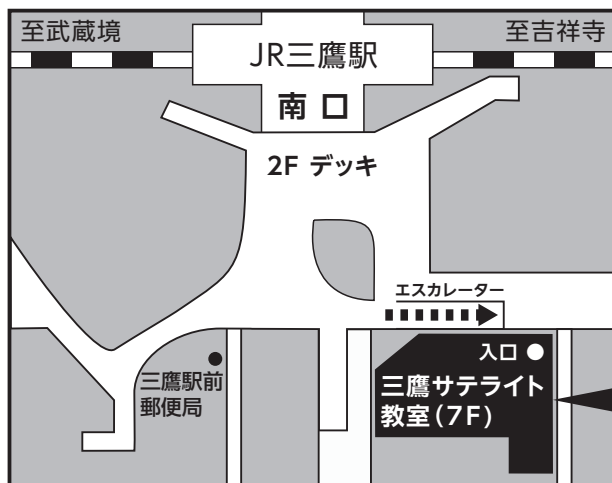


## 猫の日本史— 平安王朝から幕末まで —

受講料 (振込額)	7,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	金曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全3回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	歴史作家・本学政治経済研究所客員研究員 桐野 作人 (きりの さくじん)				
	歴史関係の出版社編集長から独立。主な単著・共著に『増補改訂 猫の日本史』『織田信長—戦国最強の軍事カリスマ—』『だれが信長を殺したのか』『関ヶ原 島津退き口』『さつま人国誌』戦国・近世編1～3『薩摩の密偵 桐野利秋』2019年、『龍馬暗殺』で第29回高知出版学術賞特別賞を受賞。				
内容	今年の大河ドラマ「光る君へ」で、ときどき猫が登場するのをご存じでしょうか？そしてなぜかヒモでつながれています。現代と猫の飼い方が違うのにも理由があります。 本講座では、平安時代から幕末まで1000年近い歴史のなかで、日本人と猫の関わりとその変遷について考えていきます。平安王朝、信長・秀吉とその時代の公家や僧侶島津義弘・伊達政宗・細川忠興・井伊直孝といった大名、公家・僧侶から滝沢馬琴、天璋院篤姫、坂本龍馬などと関わる猫たちを取り上げます。残念ながら猫が日記や手紙を書いてくれないので、人間側の史料がもとになりますが、時代を超えて人間の猫への接し方の歴史を見ていきましょう。				
	【参考図書】『増補改訂 猫の日本史』 戎光祥出版 / 桐野作人・吉門裕 / 2024年 / 1,760円				
	①7月12日：猫と平安王朝・信長・秀吉 ②8月 9日：猫と戦国大名・公家・僧侶 ③9月13日：猫と馬琴・篤姫・坂本龍馬				



# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。